

令和8年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
教職概論				講義		荒井 聡史	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	2	30	15	後期	幼免:必修	保育士:必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>①保育者の役割、倫理、制度的位置づけについての基礎的知識や保育職の専門性、保育者の現代的課題について説明できるようになる。</p> <p>②自己の保育者観をふりかえり、発表できるようになる。</p> <p>③保育職をめぐる現代的課題について解決策を考え、発表できるようになる。</p>							
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <p>・受講生各人がこれまでに受けてきた日常的な教育体験を出発点にし、それを歴史、思想・理念、制度、カリキュラムといった視座に関する基本的理論や考え方からとらえ直すことによって検討する。</p> <p>・シラバスに示した内容について、適宜グループワークを取り入れながら事例に基づいた講義を行う。</p>							
<p>[受講上の注意事項]</p> <p>・幼稚園教諭免許、保育士資格という社会的地位にかかわる授業であるため、評価は授業態度も含めて厳正に行う。</p> <p>・自分の考えを述べる場を設定する。よって、常に自分なりの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。</p>							
[使用テキスト]				[評価基準]			
木山徹哉／太田光洋 編著『教職論』ミネルヴァ書房, 2017年				以下を総合して判定する。・試験(30%)・個人発表(12%)・授業態度(28%)・事例研究とグループディスカッション(30%)			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	オリエンテーション～保育者のイメージ			授業内容や進め方の全体的な流れを理解する 自己の経験から保育者観を深める／個人発表シートの作成			
2	保育者の身分と地位①			幼稚園教諭の身分と地位／個人発表シートの作成			
3	保育者の身分と地位②			保育士の身分と地位／個人発表①			
4	保育者の仕事①			保育者の1日／個人発表②			
5	保育者の仕事②			保育者の基本業務／個人発表③			
6	保育者集団の特徴①			保育者集団のジェンダー／個人発表④			
7	保育者集団の特徴②			保育文化の伝承の問題／個人発表⑤			
8	子どもを理解すること①			こども理解の諸側面／個人発表⑥			
9	子どもを理解すること②			生きるこどもを理解する／事例研究①			
10	保育者の専門性とは何か①			反省的実践家としての保育者／グループディスカッション①			
11	保育者の専門性とは何か②			保育者の人間性と専門性／事例研究②			
12	保育・教育と他領域の協働①			保育と子ども家庭福祉／グループディスカッション②			
13	保育・教育と他領域の協働②			保育と保健・医療／事例研究③			
14	保育者とは何かを振り返る			これまでの学習をふまえて保育者観を再構築する ／グループディスカッション③			
15	講義のまとめと確認			確認テストと授業評価			
実務教員としての経歴							
実務経験と授業の関連							